

銘傳大学日本語教育実習

プログラム区分	海外実習
主幹部署	国際日本学科
研修先国・地域名	台湾・桃園市
研修先	銘傳大学
プログラム概要	<p>銘傳大学での2週間にわたり日本語教員養成のための教育実習を実施する。その主な内容は以下の4点である。</p> <p>(1)銘傳大学における各種日本語授業の参観、および高校の日本語授業でのプレゼンテーション、授業アシスタント</p> <p>(2)銘傳大学での教壇実習のための事前指導、および教材作成などの準備</p> <p>(3)2回の教壇実習と事後の指導</p> <p>(4)実習報告書の作成</p> <p>実習中は、銘傳大学が提供する宿泊施設に滞在し、桃園キャンパスで教育実習を行う。銘傳大学の学生たちと頻りに交流の機会を持ち、台湾人学習者の視点から日本語教育について考え、同世代の台湾人学生との交流や異文化体験を通して、異文化コミュニケーションについて考える機会が得られる。</p> <p>日本語教師志望者だけでなく、中・高等学校の国語教師を目指す学生にとっても貴重な体験が得られる実習である。</p>
日程	出発予定時期：2025年3月上旬 期間：2週間
単位認定	合計2単位 「日本語教育実習 E (海外)」1単位 「日本語教育実習指導 E」1単位
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-
語学研修の有無	無
語学研修以外の内容	有
問い合わせ先	国際日本学科
その他	<ul style="list-style-type: none">・上記内容は変更する場合がある。本実習の詳細は、募集説明会にて確認すること。・実習参加前までに履修しなければならない科目がある。詳細は、学科事務室に問い合わせること。・台湾渡航前に15コマの集中講義「日本語教育実習指導 E」を行う。この授業にすべて出席し、事前課題の提出が完了していることが教育実習参加の条件である。

体験記

銘傳大学日本語教育実習に参加して

氏名：濱口 夏希（2023 年度参加）

本文：

今回、2 週間の台湾研修を経験し、たくさんの学びを得ました。また、大学生のボランティアの人達の優しさや、先生達の温かさに触れ、幸せな時間を過ごすことが出来ました。私は、これまでの人生で海外に 2 週間も滞在したことはなく、はじめは不安で仕方なかったのですが、空港に迎えに来てくれた院生の方や学校で待っていていた他の学生さんや先生に会い、とても楽しい気持ちで研修を始めることが出来ました。その後も学生さんたちは時間があればご飯やお出かけに誘ってくれ、美味しいお店や可愛いものをたくさん教えてくれました。教壇実習も、ちゃんと授業できるかなとか緊張で固まってしまったらどうしよう。という不安が大きかったのですが、学生さんたちがとても授業に協力的であり、無事に終わることが出来ました。もちろん、担当の先生が私のしたい授業をよりよく行うにはどう改善するべきか、共に試行錯誤してくれたおかげでもあります。

今回の実習では、教壇実習や授業見学で得た学びも大きかったですが、人と接することの楽しさ、異文化を知る喜びを再確認出来たことにも大きな意味があると感じています。食べたことの無い食べ物、聞いた事や話したことの無い言葉や考え方、文化に沢山触れ、それは確実に私にとっての栄養となりました。今回の経験を今後の大学生活、その先の人生への糧にし、邁進していきたいと考えています。

